

「骨寺通信」

第26号

本寺地区地域づくり
推進協議会会報
E-Mail
honedera@mx21.tiki.ne.jp

稲刈り体験と莊園めぐり 10月14日



菅原光聴法嗣さんによる安全祈願



束ね方はこれでいいの



稲刈りが初めての人も楽しく体験



やっぱりホニオはいいな



”次世代へ笑顔でつなぐ莊園農業”



午後の莊園めぐり、慈恵塚にて



盛況だった農民市



青空の下、美味しかった

8月に行われたイコモスの現地調査も無事終了し、世界遺産登録前、最後の「稲刈り体験と莊園めぐり」が遠西遺跡付近を会場に行われました。

当日は絶好の稲刈り日和。さわやかな秋風が吹く中、紅く色づいた栗駒山に見守られ、約百人の参加者が12畝の圃場の稲刈り作業に汗を流しました。体験に先立ち、中尊寺大長寿院の光聴法嗣による五穀豊穡のお礼と農作業安全祈願が行われ、その後参加者はたわわに実った稲穂を一齐に刈り始めました。刈った稲穂をわらで束ねる作業に手間取る大学生、踏み台に乗って穂鳩に稲穂を掛ける小さな男の子。時折歓声が飛び交う中、会場は豊作の喜びと世界遺産登録を願う暖かな雰囲気になりました。

昼食は、生活改善センターで、臼と杵でついた餅料理、地元で採れた野菜の煮付け、お漬物などが振舞われました。午後は、山王窟と慈恵塚のふたつのコースに分かれた莊園めぐりが行われ、岩大生や地元住民の説明を聞きながら、参加者は中世の莊園時代に想いをめぐらしていました。

登録への願い新たに

